

# 平成 29 年度 特別養護老人ホーム うさみの園 事業報告書

## 1. 事業運営の概況

職員研修は平成 29 年度事業計画に沿い、利用者様へのサービス向上と職員の資質向上に直結するよう、全職員が出席できる環境を整え研修を実施した。

また、各種委員会においては、各々の担当分野についての検討を重ね、利用者様が快適に暮らせる環境作りを目指して、前年度より引き続きマニュアル改変に取り組んだ。

運営面では、厚労省の指針による重要介護度者の積極的な受入れを目指した結果、長期入院や死亡による退所者数が増加したことにより、退所者数が平成 28 年度と比較し 11 名増となった。また、退所者数の増加に伴い、空床期間も増加傾向となった結果、平成 29 年度の総在所要者数は 31,333 名、年間稼働率は 96.3%と平成 28 年度と比較し 1.1%の減少となった。

## 2. 事業計画実施状況

### (1) 施設サービスの質の確保・向上

#### ① 質の高い専門性のあるケアの実施

- ・ 年度中途にケアマネジャーが変更となった。各利用者様の介護保険認定更新時期に合わせ、随時ケアマネジャーを中心に看護師・栄養士・介護職員・相談員が出席してカンファレンスを行い、より個別に特化した内容の施設サービス計画書を作成した。計画内容については、身体状況に応じて重点項目について見直しを行い、計画書を基に継続的な支援が実施できるよう心掛けた。
- ・ 新たに専従の機能訓練指導員を配置し、看護師・介護職員の協力のもと、個別機能訓練計画書の作成・見直しを行い、計画に沿った機能訓練を実施した。

また、施設内での機能訓練に加え、気候の良い時期にはベランダやテラス等、外出の機会を増やすことで、利用者様の気分転換を図りながら楽しく機能訓練を行う事ができるよう工夫した。

## ② 認知症の利用者様への取組み

内部研修により全職員が、認知症の利用者様に関する知識を会得することにより、利用者様個々の認知症状に対して安全かつ快適な生活環境及びサービスの提供に努めた。

## ③ 身体拘束廃止への取組み

- ・ 身体拘束廃止委員会活動の波及効果から、身体拘束に対する職員の意識を高く持つことにより、身体拘束ゼロの継続に努めた。
- ・ スピーチロックの廃止を職員同士が把握し、研修で意見を出し合う事によりスピーチロックに対する意識づけを行った。
- ・ 高齢者の虐待防止について内部研修を実施し、虐待に対する知識を得ることにより、利用者様の安全や健康への留意に努めた。

## ④ 施設内事故対策への取組み

利用者様個々に、過去に発生した事故の分析を行うことにより、事故の発生の要因及び再発防止策を確立し、事故の再発の減少に努めた。

## (2) 職員の処遇充実と資質向上

### ① 研修体制の充実

年間計画に基づく内部研修において、全職員が出席できる環境を整えるため、同講義を月2回実施することにより出席率の向上に努めた。

内部研修を9回実施し、述べ 569 名の職員が出席した。昨年度と比較すると、26%向上した。

### ② 職員の安全衛生管理

労働安全衛生委員会を中心に、職員の健康・安全・衛生・環境について協議し、改善に向けた取組みを行った。

### ③ 職員の精神的ケア(守秘義務)

- ・ 年1回のストレスチェックの実施により、職員のバーンアウト防止等の精神的ケアに努めた。
- ・ 職員用の意見箱を設置し、投書された内容を労働安全衛生委員会で精査し、可能な限り職場・業務環境の改善に努め、職員の精神衛生の安定を図った。

### (3) 地域社会との協同と貢献

#### ① 地域との連携体制の強化

うさみの園まつり・施設防災訓練等を通じて、地域住民や近隣福祉施設との交流を持ち連携を深めることで、施設の存在意義の理解を求めた。

#### ② 実習生の受け入れ

県や市、各学校の福祉実習プログラムに協力し、幅広い福祉実習生の受け入れに努めた。

#### ③ 地域に根付いた公益事業の発展

- ・ 公益事業として、地域住民を対象とした『いきいき支援相談会』を7月と11月に開催し、福祉に関する相談の窓口を設置した。
- ・ 「うさみの園だより」を年3回発行し、地域に配布した。

### (4) 施設設備の環境維持

基幹設備の耐用年数及び経年劣化等による設備不良に対して随時修繕を実施した。また、平成27年度に実施した照明器具のLED化の際、未実施だった照明器具のLED化を図った。

### (5) 災害に備えた対策・訓練・地域連携等の強化

#### ① 災害(火災、台風、地震、土砂災害)への対応、取組みの充実

地域消防と連携し総合防災訓練、夜間想定防災訓練の他、定期的にユニット単位での訓練を実施した。

#### ② 備品の確保

利用者様及び職員の災害用備蓄品(食品・飲料水・介護用品)を3日分から5日分へと増やした。

#### ③ 地域福祉避難所

その役割を理解し、有事の際には全うできるよう地域との連携及び防災備品の準備に努めた。

### (6) 委員会活動

ショートステイ・デイサービス等、併設事業所と協働で委員会活動を行い、様々な取り組みを行った。

#### ① 管理運営会議(毎週月曜日)

基幹職員が出席し、週間の業務予定及び検討事項の協議を行った。

② 職員全体会議(4・10・1月)

全職員対象に施設長の講話、情報伝達・業務の周知を行った。

③ 防災管理委員会(随時)

災害に備え、災害対策を見直し、防災訓練の計画・実施した。

④ 労働安全衛生委員会(第3水曜日)

職員の健康・安全・衛生・環境について協議し、改善に向けた取組みを行った。また、ユニット単位の清掃活動を指導・促進させた。

⑤ 感染症対策委員会(第1水曜日)

- ・ インフルエンザ発生時期に合わせて内部研修を行い、施設内の消毒と、職員・面会者のマスク着用・手指消毒を徹底し、外部からのウィルスの侵入防止に努めた。食中毒・その他の感染症については、手洗いや各所の清掃についての研修会を実施し、食中毒の発生防止に役立てた。
- ・ 利用者様の身体状況に合わせて褥瘡予防の為に体位交換や、クッションを活用した臥床時及び車椅子乗車時の座位安定を推進し、新たな褥瘡の発生を防いだ。

⑥ リスクマネジメント委員会(第4木曜日)

危険予知訓練の研修を実施するとともに、事故防止マニュアルの徹底及び事故報告書を整備し、事故の再発防止に努めた。

⑦ 身体拘束廃止委員会(第4木曜日)

身体拘束・スピーチロック廃止及び高齢者虐待について研修を行い、全職員に対し身体拘束ゼロに繋げた。

⑧ 排泄委員会(第2水曜日)

利用者様の快適な生活と安眠を保つため、個々の利用者様に最適なおむつの選択と、排泄パターンに合わせた時間帯に介助を行った。

⑨ 給食委員会(第2火曜日)

栄養士が中心となって、嗜好調査の結果に基づく献立や給食内容の検討、配膳・下膳についての工夫、食中毒・ノロウィルスの予防対策等についての検討を行った。

⑩ 栄養委員会(第3水曜日)

(株)日清医療食品の職員も出席し、適正な厨房の運営・衛生管理等について協議した。

⑪ イベント委員会(随時)

利用者様へのサービス向上のため、年間行事の計画と実施に努めた。

⑫ 編集(広報)委員会(随時)

広報誌発行の編集及び校正を行い、広報誌「うさみの園だより」を年 3 回発行した。

⑬ リネン委員会(随時)

利用者様に快適な睡眠を提供できるよう、適切なベッドメイクの徹底を行った。

⑭ 優先入所検討委員会(6・12 月)

外部の第三者委員 2 名を含め、年 2 回優先入所基準に基づく採点により入所順位が上位となった待機者について検討し、適正な施設入所に努めた。

⑮ 苦情委員会(11 月)

施設に寄せられた苦情及び苦情に準ずる指摘について、外部の第三者委員 2 名に報告した。

(7) 実施事項

① 年間行事

平成 29 年度に行った主な行事は次の通り。

4 月	イチゴ狩り ・ たけのこ狩り ・ 蕨取り
5 月	
6 月	うさみの園祭り
7 月	七夕まつり
8 月	花火大会
9 月	敬老祝賀会
10 月	ハロウィンビンゴ大会
11 月	運動会
12 月	クリスマス会 ・ そば打ち実演会
1 月	書き初め ・ 餅つき
2 月	節分まつり
3 月	ひなまつり

② 健康管理

ア. 嘱託医回診

南あたま第一病院・・・毎週 1 回(火曜日)

イ. 歯科往診

石川歯科 ……随時

ウ. 健康診断

全利用者様を対象に静岡県結核予防協会にて 8 月に実施。

(8) 連絡会議等への参加

伊東市介護事業者連絡協議会(年 6 回)

伊東圏域の他の老人福祉施設・老人保健施設等で相談員業務に携わっている職員との情報交換の場として参加した。介護保険制度の改正をはじめ、市の今後の方針等についての情報収集により、業務改善に役立った。

(9) 非常災害対策について

平成 29 年度 防災訓練実施内容

日	内 容
4 月 21 日(金)	通報、初期消火、避難誘導訓練 (巣雲 1・2 丁目)
5 月 26 日(金)	通報、初期消火、避難誘導訓練 (巣雲 3・5 丁目)
6 月 30 日(金)	通報、初期消火、避難誘導訓練 (天城 1・2 丁目)
9 月 4 日(月)	夜間防火管理体制に基づく検証 避難時間 12 分 26 秒
11 月 6 日(月)	東海地震想定総合防災訓練、情報伝達、救急救護訓練
1 月 19 日(金)	土砂災害想定垂直避難訓練

【外部研修受講状況】

職 種	参加延 人数	主 な 研 修
施 設 長	6	ミニ就職相談会
		講師派遣（施設の特色や入居者の生活環境、福祉の仕事内容について）
		平成 29 年度福祉・介護人材確保実践セミナー
		平成 29 年度経営戦略セミナー
		介護人材確保シンポジウム
		平成 29 年度第 2 回障害者就業・生活支援センター おおむろ連絡協議会
事 務	6	平成 29 年度介護保険サービス提供事業者説明会
		平成 29 年度社会福祉法人運営管理研修会
		平成 29 年度社会福祉法人・施設職員税務実務講座
		平成 29 年度労働衛生管理セミナー「労働衛生の現状と課題」
		2018 年介護報酬改定情報について(在宅系サービス中心)
特養・ショ ート	2	平成 29 年度認知症介護基礎研修
		災害福祉支援セミナー/福祉施設の災害対策講座
医務	1	平成 29 年度労働衛生管理セミナー「労働衛生の現状と課題」
居宅介護 支援事業 所	17	伊東市介護保険事業者連絡協議会 全体研修会「知っておきたい介護事業者の知識」
		平成 29 年度 静岡県主任介護支援専門員研修
		平成 29 年度第 2 回地域包括医療推進会議「終末期における医療連携」研修
		平成 29 年度介護保険サービス提供事業者説明会
		平成 29 年度介護予防ケアマネジメント実務者研修
		「シズケア※かけはし」操作説明会
		平成 29 年度静岡県介護支援専門員実務研修見学実習受入協力事業所管理者・指導者説明会
		平成 29 年度介護支援専門員GSV研修
		2018 年介護報酬改定情報について(在宅系サービス中心)
		平成 29 年度第 3 回地域包括医療推進会議「終末期の多職種連携 volume2」
		「シズケア※かけはし」操作説明会
デ イ	4	通所部会研修「介護記録について」
		2018 年介護報酬改定情報について(在宅系サービス中心)
ヘルパー	4	平成 29 年度第 2 回地域包括医療推進会議「終末期における医療連携」研修
		平成 29 年度介護保険サービス提供事業者説明会
		「シズケア※かけはし」操作説明会
		2018 年介護報酬改定情報について(在宅系サービス中心)

【内部研修参加状況】

開催月	参加人数	研修内容
5月	38	介護危険予知訓練
7月	44	感染症(食中毒の予防について)
9月	68	排泄ケア(オムツについて)
10月	72	リスクマネジメント
11月	67	嚥下・とろみの付け方について
12月	67	感染症対策と拡散防止について
1月	70	認知症ケアについて
2月	71	看取り介護について
3月	72	平成30年度ユニット目標について

【介護実習受入状況】

①介護職員初任者研修実習状況

実習内容	主催者名・学校名	実習期間	人数	備考
介護実習(特養・DS・訪問)	静岡ライフカレッジ	5月17・18・22日	1	
介護実習(訪問)	静岡ライフカレッジ	5月24日	1	

②大学・高校・中学校福祉実習状況

実習内容	主催者名・学校名	実習期間	人数	備考
高校生ビジネスプランングランプリ	伊東商業高校	7月22日	2	ビジネス企画インタビュー
初任者研修	熱海高校	6月19～23日	2	
介護実習(特養・DS)・清掃	宇佐美中学校2年	11月9・16日	1	職業体験
介護実習(特養・DS)・清掃	宇佐美中学校1年	11月9・16日	32	福祉体験